

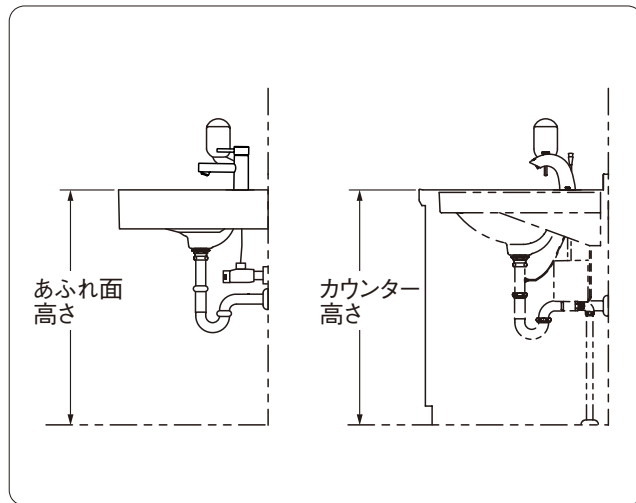
洗面器・手洗器 あふれ縁高さ・カウンター高さ

洗面器・手洗器の設置高さについて、本製品を快適にご使用いただくために、洗面器・手洗器のあふれ面高さ、カウンター高さは下記の表を参考に取り付けてください。

- 標準洗面器・手洗器あふれ面高さ
標準カウンター高さ

用途	商業施設・交通施設等	オフィス等
対象者	小学生～成人	成人
洗面器	750mm	800mm
手洗器	800mm	

※商業施設・交通施設等にて連立されている、洗面器・手洗器のうち、幼児向けに高さを下げて設置する場合は、2006年12月20日に施行された「バリアフリー新法」に関連したガイドライン「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン（バリアフリー整備ガイドライン（旅客施設編）」（国土交通省発行）に記載されている550mmをおすすめします。



※保育園、幼稚園等の幼児施設に設置し、幼児が使用する流し及び洗面器で、ポップアップやゴム栓等で水ためができる使用の組み合わせは、幼児の安全性を考慮し当社ではお勧めしていません。

洗面所 /
コーディネート

洗面器

施工方法

1. アンダーカウンター式洗面器

アンダーカウンター式洗面器の施工方法は954ページを参考にしてください。

2. ベッセル式洗面器

ベッセル式洗面器の施工方法は、取付固定金具 **HR 700/HR 710** の施工説明書をご確認ください。

3. はめ込み洗面器（フレーム式）

フレーム式洗面器（**L 525RU・RCU・CFRU・RAU, CMRU**）はフレームが仮止めできる構造になっていますので、取り付けが容易に行えます。

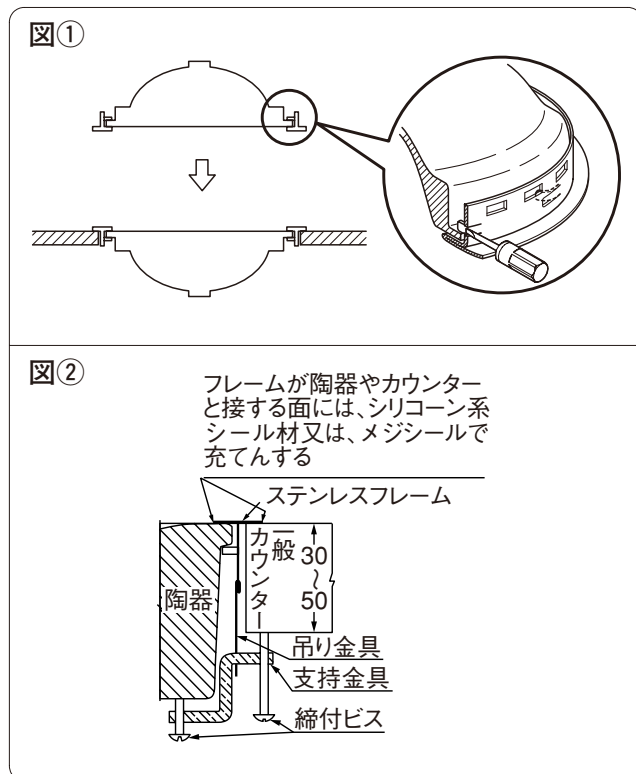
(1) フレームの周縁全周にシリコン系シール材又は、メジシール (**YG 902S・903S**) を充てんしてからフレームを洗面器にはめ込む。

※フレームよりはみ出したシリコン系シール材又は、メジシールは乾いた布等でふき取ってください。

(2) フレームの仮止め用つめを右図①のようにドライバーで押し曲げる。（軍手着用のこと）

(3) カウンターの洗面器取付穴周囲の汚れをとってから、フレームと接するカウンター全周にシリコン系シール材又は、メジシールを充てんする。

(4) カウンターに洗面器をはめ込み、下図②のようにフレームに吊り金具と支持金具を取り付けて、締付ビスで固定する。
カウンター厚みが30mm以下のときは当て板を入れて厚みの調節をする。



洗面器・手洗器
あふれ縁高さ・カウンター高さ / 洗面器

洗面器

洗面所 /
コーディネート

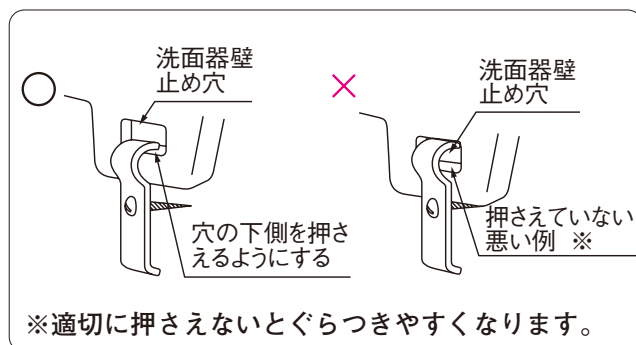
4. カウンター切込用型紙について

はめ込洗面器の取付穴をカウンターにあける際のカウンター切込用型紙を用意しています。この型紙は原寸大で印刷しているため大変便利です。ご入用の節は当社支社・支店・営業所にお申し付けください。(型紙No.4053)

5. バックハンガーによる洗面器取り付け

バックハンガーにより洗面器を取り付ける場合は、まずバックハンガーを正確に所定の位置に取り付ける必要があります。バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、下図①Aの楕円穴のみで仮止めして洗面器を掛けて、下図①B部をよく押さえて所定の位置になるよう調節した後、本固定する。この場合木ねじがきかず後から抜けることのないように十分確かめること。

下図①Aの楕円穴の調整代を使用しても、なお洗面器が所定の高さに取り付かない場合は次のように調節する。バックハンガーの木ねじをゆるめ、上げたいときは下図②下部(b)、下げたいときは下図②上部(a)と壁との間に金属片をはさんで調節する。下図①Cの木ねじ穴位置をあたり、案内穴をやや下めにあけ、木ねじで洗面器を下に引き下げるように締め付ける。



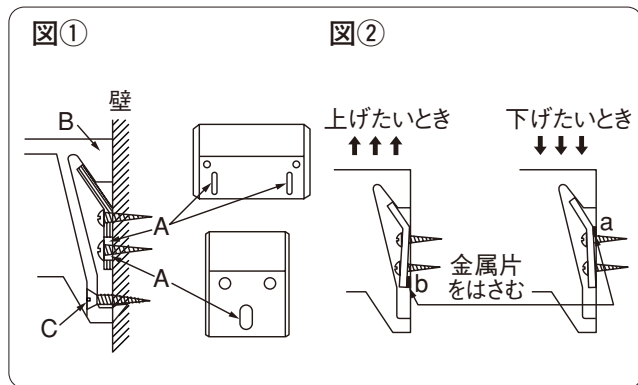
安全上のご注意

⚠ 注意

- 陶器を固定するときは、ねじを強く締めすぎないでください。
陶器が破損してけがをしたり、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。
- 陶器に衝撃を与えないでください。
陶器が破損してけがをしたり、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。

洗面器

洗面器



6. バックハンガーと壁止め金具 (T 8C使用の場合)

バックハンガーの取り付けは前項の方法で行い、洗面器が正しく掛かることを確かめる。次に、壁止め金具の湾曲側の先端を洗面器の取付穴下面の中ほどにあてがい、木ねじ穴の位置をあたり、案内穴をあけて、木ねじを締め付ける。壁止め金具を締め付けることにより洗面器を下に引き下げる力が働きますので強固に取り付く。